

2007 年度

科目名 産業心理学	対象学科・学年 人間人社3回生	担当者 永野 光朗
授業テーマ 「心理学の応用」という立場から、産業場面を含めた人間の社会生活を改善し向上させるために心理学がどのように活用できるのかということを理解したい。		
授業の概要と目標 高度に発達し複雑化・巨大化した現代の産業社会を構成している基本単位はいまでもなく「個々の人間」であり、産業活動の効率化や、そこで生じる問題の解決をはかるためには、人間の行動や心理についての中立的で客観的な理解が欠かせない。 この講義では産業場面にかかわる人間の行動を「生産者としての行動」という側面からとらえ、心理学的知見に基づいて考察していく。さらにひろく「心理学の応用」という立場から、産業場面を含めた人間の社会生活を改善し向上させるために心理学（とくに社会心理学）がどのように活用できるのかということもあわせて考えてみたい。		
評価方法 試験および随時のレポートによる総合評価。		
テキスト なし	著者	出版社
参考書 現代社会の産業心理学	著者 向井希宏・蓮花一己 (編著)	出版社 福村出版
授業スケジュール・内容 - 産業心理学の目的と歴史 - 産業心理学の範囲と課題 - 組織行動の心理学1 動機づけ理論（内容理論） - 組織行動の心理学2 動機づけ理論（過程理論） - 組織行動の心理学3 社員のモチベーションの高め方（ビデオ視聴） - 組織行動の心理学4 リーダーシップ論① - 組織行動の心理学5 リーダーシップ論② - 組織行動の心理学6 職場のストレス① - 組織行動の心理学7 職場のストレス② - 消費者行動の心理学1 消費者行動とマーケティング活動① - 消費者行動の心理学2 消費者行動とマーケティング活動② - 消費者行動の心理学3 消費者の購買意思決定過程① - 消費者行動の心理学4 消費者の購買意思決定過程② - 消費者行動の心理学5 消費者の購買意思決定過程③ - まとめと試験		